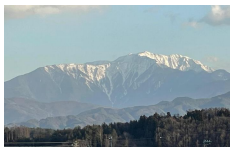
ああ　遠くの空は　晴れている



ＮＯ４１　　南箕輪村教育委員会

今回は、９月の定例議会で質問された　「多様性」と「共生社会」につての答弁を報告します。

質問順位６　議席番号１番　西森　一博議員

◆　多様性と共生社会の推進について

１　社会力を育んでいくための、「多様性」と「共生社会」について　どう学ばせいくか

２　学校、家庭、地域の大人も巻き込んだ体験的な学びをどう進めていくか

○「答弁の要旨」　　尾形教育長

２　次に、学校、家庭、地域の大人も巻き込んだ体験的な学びをどう進めていくかについてお答えします。

教育大綱の社会教育の重点は、「社会力」を育み、発揮する環境づくりであります。めざす地域住民の姿として、「多様な人々がお互いを尊重し、支え合いながら、地域社会の一員として、共に地域を作っていく存在であることを認識して、日常生活をより豊かに営む」と記しています。これは、「多様性」と「共生社会」と関連した姿であると考えます。

その上で、学校、家庭、地域の大人も巻き込んだ体験的な学びをどう進めていくかについて、現在の状況と今後の方向について私の考えを述べます。

現在、地域と協働体制のもと、様々な活動が、学校・地域で展開されています。

◆学校教育関連事業としましては、

・小中学校の総合的な学習の時間での探究活動に、地域の方々が参画いただきながら、子どもたちは自分のテーマに基づいて、「ひと・もの・こと」と関わりながら、体験的な学びを展開しています。

特に、中学校２年生のキャリア教育の一環として実施している「職場体験学習」は、地域の方々の多大なご支援とご協力によって、体験的な学びを通して、社会とのつながり、働くことの意味を考える良い機会となっております。

◆社会教育関連事業としましては、
・青少年健全育成協議会の活動として、地区育成会の実施行事として
夏休みのラジオ体操、お盆のまんど、夏祭りや納涼祭、花火大会、秋祭りや子ども神輿、区民祭やクリスマス会、どんど焼きや天神様、6 年生を送る会等、伝統行事や地区行事を通じて、地域の子どもと保護者、地域の住民を巻き込んだ様々な「体験的な学び」が展開されています。この地区育成会の諸行事は、地域のコミュニティの基礎を形成するものとして、今後も大事に継続してほしいと願います。

他の活動をいくつか挙げてみますと、
・中学校の「休日の地域クラブ」の実施
・総合型地域スポーツクラブ　南箕輪わくわくクラブでの活動
・市町村小学生駅伝大会への参加
・こども未来塾の実施
・広島平和学習への参加
・まっくんスポーツフェスティバルへの参加
・夏休みの各種クッキング教室での体験
・公民館分館での諸行事への参加
・夏休みの公民館の開放、寺子屋教室的な利用
（夏休みの宿題、異年齢での交流や遊び）
・大芝高原まつり（村民パレード、民謡おどり、フリーマーケット等）への参加
・とうろう祭りのとうろうづくり
・元旦初走り・初歩き
・二十歳のつどい
・地域の学びと情報の拠点としての図書館活動の活用
（小さなおはなしむら、おはなしむら、等）
といった、スポーツ・レクリエーション活動、人権教育、芸術・文化活動の取組を通して、学校、家庭、地域の大人も巻き込んだ体験的な学びがあります。
今後も、こういった活動に多くの方々が参画いただけるよう、広報・周知を丁寧に図っていきたいと思います。
さらに、毎年開催されます
・子どもの育ちを考えるフォーラム
・人権講演会
の研修を通じて、一人ひとりが異なる特徴や背景を持っており、お互いがその違いを認め合い、尊重し合って生きていく「共生社会」の大切さについて学び合う機会としていきます。

また、毎月２３日の「共育の日」における、アウトメディアデーの呼びかけ、「おはよう」「こんにちは」に加えての「いってらっしゃい」「おかえりなさい」の挨拶運動のよびかけ、地域ボランティアの皆さんや青少年健全育成の役員、地区ＰＴＡ役員による「見守り運動」の実施は、今後も継続して、大切に取り組んでいきたいと思います。

このように、学校、家庭、地域の大人も巻き込んだ体験的な学びは、既存の取組として、学校教育・社会教育において、規模や参加者は異なりますが、様々な形で展開されています。この取り組みは、今後も大事に継続し、取り組みを支えていただいている関係者の皆さんとの関係、ご支援とご協力をよりよいものにしていきたいと思います。

今後の方向としましては、

〇南箕輪村社会福祉協議会で展開している、「地域支え合いフォーラム」を通して、地域を支える各種団体との連携を図り、学校・地域・社会が協働して、多様な子どもたち、多様な方々との交流・支援・サポートしていく体制づくりのさらなる推進

〇地域の学校を地域でデザインしていく、国型のコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の立ち上げ

〇毎週火曜日に、保育園・小中学校の保護者、教職員に配信している教育委員会だより「ああ　遠くの空は　晴れている」において、学校、家庭、地域の大人も巻き込んだ体験的な学びの様子について、より多くの方々に関心をもってもらう情報発信等に力を入れたいと考えます。

そういった取組を通じて、議員ご指摘の共生社会を実現するためには「誰かの善意」や「誰かの我慢」に頼るのではなく、地域全体で支え合える仕組みづくりにつなげたいと考えます。

多様性と共生社会の推進については、学校・家庭・地域が協働して取り組む必要があります。今後も、南箕輪村教育大綱の教育理念
「地域の中で　仲間と共に　自分を磨く」の下、
学校教育においては、「共に学び合う授業」の実践
社会教育においては、「社会力を育み、発揮する環境づくり」
を重点に、お互いが「あたたかな　まなざしで」子育てに取り組み、
多様性と共生社会の実現をめざしたいと思います